

# 令和2年度中津市中学校体育連盟 中津市中学校体育連盟主催大会実施上の 新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大予防ガイドンス

本ガイドンスは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）、「全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。また、地域によって流行状況が異なる点や、各競技団体の方針が競技の特性によって様々に設定されているなど、各市町村、各競技団で方針が異なるため、各大会の実施については、中津市（中津市教育委員会）や各競技団体の方針に従い、最新情報も併せて慎重に進めていきます。（延期または中止も含む）

なお、今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに留意ください。

## 1 大会実施に当たっての基本的考え方について

大会の実施に当たっては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」(文部科学省)を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(スポーツ庁)、「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」(公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会)、「全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」(日本中学校体育連盟)、「大分県中学校体育連盟主催大会実施上の新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大予防ガイドンス」(大分県中学校体育連盟)等を参考に、今後の中津市中学校体育連盟主催大会実施に当たっての基本的な考え方にに基づき、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとします。

### 【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の3つの基本
  - 身体的距離の確保
  - マスクの着用
  - 手洗いの徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場所）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

## 2 大会実施時の感染防止策について（実行委員会＝競技専門部会）

- (1) 感染源を絶つ
  - 実行委員会は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等は大会に参加させないことを徹底する。
  - 実行委員会は、各校の生徒及び監督、引率者等の2週間分の体調を記録した体調記録表（別紙1）の記録を求め、健康管理を徹底する。
  - 実行委員会は、大会当日受付時等に、学校同行者体調記録表（別紙2）の提出をさせ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
  - 実行委員会は、学校同行者体調記録表（別紙2）に記載された者以外の保護者、大会役員、審判などの来場者に対し、来場者体調記録表（別紙3）に、氏名・年齢・住所・連絡先（電話番号）・検温した体温・来場前2週間における ア：平熱を越える発熱、イ：咳や喉の痛みなど風邪の症状、ウ：だるさ（倦怠感）・息苦しさ（呼吸困難）、エ：味

覚や嗅覚の異常、才：過去14日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航歴及び当該在住者との濃厚接触の有無の確認と、来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。

- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに、選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- 実行委員会及び引率者等は、大会中に、選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

## (2)感染防止の3つの基本

### ア 身体的距離の確保

- ・開会式等は身体的距離の確保ができない場合は実施しない。また、抽選会は、必要最小限の人数によって代理抽選とする。
- ・実行委員会は、監督者会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- ・引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。
- ・実行委員会及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

### イ マスクの着用

- ・実行委員会は、選手、引率者等及び大会関係者に、マスク等を準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。ただし、活動中や気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。
- ・マスク等を着用して運動を行う場合には、同じ運動であっても、身体へ高い負荷がかかり、低酸素症や熱中症などのリスクが高まるため、引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。

### ウ 手洗い等の徹底

- ・実行委員会は、選手、引率者等及び大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を設置するとともに、場内アナウンス等で、生徒や引率者等に手洗いを促す。
- ・実行委員会は、手洗い場等に「正しい手洗いの仕方」の掲示をする。参加者には、事前に手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- ・引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに流水と石けんを手洗いを行うよう、選手に指導する。

## (3)3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場所）の回避

- 試合会場への入場は、登録された選手、引率者等及び大会関係者とし、保護者等の応援に関わる入場については、施設や各競技団体の方針及び施設の状況を考慮し、競技毎に設定する。
- 引率者等は、保護者等の応援に関わる入場者には、指定期日までに事務局が指定する方

法で応援入場者名簿（別紙6）を提出し、実行委員会が指定する場所で入場許可証を受け取り、保護者等に配布する。

- 出場選手として登録されていない部員やマネージャーの入場については、利用する会場や施設の状況、各競技専門部の加盟生徒数等を考慮し判断する。
- 事務局と連携し実行委員会は、試合会場を複数設けるなどし、選手、引率者等の会場への移動が短縮できるよう工夫する。
- チームでまとまって会場へ移動する場合、引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう、運転手と連携し定期的に換気や、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- 実行委員会は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し、明示する。また、更衣室内に生徒同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、目印テープを貼付するとともに、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。
- 実行委員会は、屋内で実施する競技において、会場内で人が密集しないよう一度に会場に入れる人数や人の動きの動線、学校数等を制限するなどの工夫をする。
- 実行委員会は、屋内で実施する競技において、1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。その際、試合会場の窓等の開閉が困難な場合は、利用する施設と連携し、換気施設を適切に運転する。この場合においても、1時間に2～3回程度、会場の入口等を開け換気を行うなどの工夫をする。
- 実行委員会及び引率者等は、試合会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ、対面をさけ、会話は控えるよう指導する。

#### (4)安全な活動環境等の確保

- 試合に関わる全ての者（大会役員、審判、指導者、選手）は、試合が開始される2週間前からの行動を、行動履歴書（別紙4）に記録する。
- 実行委員会は、参加校に対し大会の主旨、感染拡大予防ガイダンスを周知徹底する。顧問等は、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項や各競技で設定している留意事項等を事前に説明し、参加確認書（別紙5）を提出させる。その際、大会申込期日までに定期健康診断の実施が行なわれていない学校の生徒については、各自で健康診断を受診するなど保護者の責任のもと健康上問題がないことを確認したうえで参加させる。
- 試合会場へ入場する保護者については、来場者体調記録表（別紙3）を記録の上、来場ごとに実行委員会に提出する。
- 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引率者や学校等と保護者が確実に速やかに連絡がとれる体制を構築しておく。
- 社会体育施設を利用して大会を実施する場合は、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大防ガイドライン」（スポーツ庁）に則り、感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。
- 実行委員会及び引率者等は、別紙「大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例を参考に、各部活動の実態や各競技特性に応じた適切な感染防止策を講じる。